

プログラムNo. 1: 国際協力実務講座 (初級編) プログラム概要票

1. 基本情報 \*講師や諸般の都合により、プログラム内容が変更になることもあります。予めご了承ください。

1) プログラム名:	大学生・大学院生向け国際協力実務講座 (初級編)
2) 担当者名:	浅野 哲
3) 期間 (日数):	2021年8月23日 (月) ~ 8月27日 (金) 5日間 ※下記スケジュールは昨年実施内容 (一部、変更可能性あり)
4) 参加者:	25名
5) 言語:	日本語
6) 主な対象学生:	国際協力について関心があり、将来、開発途上国の援助に従事したいと希望する学部生向け (学部3年以上が望ましい。但し、大学院生も受入れ可) 専門分野は特に問わないが、英語でディスカッション出来るものが好ましい。

2. コンテンツ

本プログラムの目的	国際協力実務経験者からの講義、ディスカッション、ワークショップ等を通じて、開発途上国の開発課題、援助アプローチに関する理解を深める。
-----------	--

日程表		No	日付	時間	場所	テーマ	講師	ねらい	概要	
1	8月23日	月		9:30-10:00	管理棟 3階 講義室 1	受付				
				10:00-10:25		プログラムオリエンテーション	司会	プログラムの概要、日程上の留意事項等を理解する。	・プログラムの目的・日程・留意事項等の確認 ・スタッフ・参加者の自己紹介など	
				10:30-10:45		主催者挨拶 (10分程度)	JICA筑波 所長			
				11:00-11:20		講座開始にあたり	アイシーネット (株)	研修の初日最初の接続時に、基礎的な使い方の説明、事前質疑 (通信機器に関し)		
				11:30-12:30		ODA・JICA事業概要説明	JICA筑波 連携推進課	日本のODAの歴史、取組み理念について理解を深めることで、JICAで実施している事業全般 (俯瞰) について、知識を得、概要を理解する。	・ODAやJICAの組織、事業 (主に技術協力) に関する講義 ・研修員受入事業概要に関する講義 ・JICA筑波研修員受入事業に関する講義 ・質疑応答	
				休憩 (昼食)						
				13:45-14:45		援助事業を担う各種アクターについて (仮)	JICA筑波 連携推進課	国際協力・開発援助の事業実施にかかる各アクターとの連携、仕組みを理解する。	・国際的な取組みに関して ・JICA職員の主要業務 (事業計画立案) について ・質疑応答	
	15:00-15:45	施設見学 (事業概要紹介)	JICA筑波 連携推進課	JICA筑波センターの研修員受入事業の概説をしながら、研修施設見学を通じ実践型農業研修について知る。	・実験棟・実習棟、研修員作成農機具の展示室、管理棟、図書情報室					
	16:00-17:00	初日を振り返って								
	2	8月24日	火		9:45-10:00	管理棟 3階 講義室 1	前日の振り返り (15分程度)	JICA筑波 連携推進課	前日インプットの振り返り	
					10:00-11:15		NGOとの連携生活改善アプローチによる草の根事業)	NPO法人IFPaT	JICAと連携した草の根技術協力の実施 (生活改善アプローチの概説ほか) 者であるNPO法人の取組みを学ぶ。	・草の根事業概要 ・質疑応答
					11:25-12:45		民間企業の海外展開支援 (事業制度ならびに連携事業例紹介)	完投中 JICA筑波 連携推進課	昨今、途上国の課題解決にODA資金のみならず、経済成長と持続的な社会発展にむけ民間企業や民間資金 (投資) の重要性は増しており、JICAの民間セクターとの連携につき理解を深める。	・民間連携を通じた地方創生 ・民間連携事業の概要及び事例紹介 ・中小企業海外展開支援事業の概要
					休憩 (昼食)					
					14:00-15:00		SDGs概要 (仮) ※テーマ差し替えの可能性あり	JICA筑波 連携推進課	SDGs持続可能な開発目標の概要を知る。	・SDGsとは? ・SDGsを取り巻く国内外の動き
15:20-17:15	開発課題 (SDGs) ワーク① ※テーマ差し替えの可能性あり	JICA筑波 連携推進課	グループワークを通じ、開発課題 (SDGs) の選定ならびに課題解決のための取り組み案について、検討する。	【★要注意】事前課題あり						
3	8月25日	水	PM	13:00	管理棟 3階 講義室 1	前日の振り返り (15分程度)	JICA筑波 連携推進課	前日インプットの振り返り		
				参加型ワークショップ 実施に向けた講義		アイシーネット (株)	PCM (プロジェクトサイクルマネジメント) とは			
4	8月26日	木		9:45-17:30	管理棟 3階 講義室 1	参加型ワークショップ ③ PCM演習	アイシーネット (株)	◎◎国△△地域の現状を題材として、具体的な投入や活動内容を具体的に検討することを通じ、事業運営管理の仕組み、課題や問題点とその解決策を模索する。		
				前日の振り返り		JICA筑波 連携推進課				
5	8月27日	金		9:45-10:00	管理棟 3階 講義室 1	前日の振り返り	JICA筑波 連携推進課			
				10:00-11:00		JICAボランティア事業	JOCV帰国隊員	JICAボランティア事業の概要 (歩み、目的、制度・趣旨、実績等) を理解し、帰国隊員による体験談を通じてボランティア活動の意義を学ぶ。	・JICAボランティア事業の説明 ・体験談の発表 ・質疑応答	
				11:10-12:25		国際協力の仕事について	JICA本部 開発協力人材室	国際協力事業に関わる様々なアクターが様々な、各アクターの概要、国際協力の関りがどんなものなのか。JICAパートナー担当者からの話を聞き、国際協力分野への仕事に対する理解を深める。	・将来的に国際協力分野の仕事に就くことを視野に入れ、各アクターの概要・必要なスキル・キャリアパスなどを相談 ・質疑応答	
				昼食						
				12:30-13:30		最終まとめ	受講生間 (アイシーネット (株))	講座等全体の振り返りとして参加者の指向、適正を分析を行う。	・受講生個々の自己分析とキャリアビジョン	
13:45-15:45	JICA筑波による講評ほか (実施可否不明)	JICA筑波 所長ほか								
16:00-										

国際協力概論 (国際的な開発援助の潮流、日本のODAの理念と実践、JICAの農業・農村開発分野の援助)

ODAが つなぐ 多様な アクター

国際協力分野におけるキャリア開発

3. 留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際協力に関する基礎的な知識を得ると共に、国際協力の実務について学べる内容となっています。</li> <li>ディスカッション、ワークショップなど参加型のセッションでは、積極的に参加する姿勢を求めます。</li> <li>原則、全日程の出席が必要となります。ネットアクセス可能な範囲で参加。</li> </ul>
---------	---

4. 学生さんへ一言	<p>将来、国際協力に関わりたい、仕事をしたい等、積極的な学生の参加を歓迎します。 授業で学ぶ国際協力以外にも現場レベルでの国際協力の取り組みについて学びたいと考える人にお勧めです。</p>
------------	---

5. その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>学生インターンが一部プログラムに参加する可能性有。</li> </ul>
--------	---